

「大洋州大型サイクロン」被災者緊急救援のお願い

RNN 事務局長 黒住 宗道

各位

大型サイクロン「パム」が2015年3月11日に南太平洋ソロモン諸島の東側を南下し、3月13日にはバヌアツ共和国を直撃しました。3月16日時点でバヌアツ国家災害対策局は死者が24人と発表しています。バヌアツでは37か所の避難所に3,300人の被災者が避難しています（国際連合人道問題調整事務所発表）。被災者は人口の約半数の13万人に上ると見られています。バヌアツ以外の大洋州諸国、フィジー共和国、キリバス共和国、パプアニューギニア独立国、ソロモン諸島、ツバルでもこのサイクロンによる被害が発生しています。

AMDAでは南大洋州のサモア独立国で25年間女性の起業支援を行っている地元の民間団体と連携し、被害の情報収集を行っています。バヌアツ、ツバル、キリバスなどの大洋州諸国にネットワークを持つこの団体の事務局長によると、バヌアツ首都ポートビラにある病院では、薬剤も足りず医療者の疲労が目立ってきているとのこと。また、バヌアツ本土での被害状況に比べて、近隣諸島の被害情報が限られていることから、AMDAでは周辺被災地の情報収集にも努めています。

AMDA本部では、大洋州のアクセス拠点であり、同国内で被害が発生しているフィジーに向かい、最新情報を収集した上で必要物資を購入して被災地に入る方針を立て、第一次派遣として看護師と調整員の派遣を決定しました。看護師は岡山から、調整員はクアラルンプールから出発します。

AMDAの看護師は3月18日早朝に岡山駅を出発。同日、関西国際空港からクアラルンプールに向かい調整員と合流した後、オーストラリア経由で20日にフィジーに入る予定です。

■派遣者プロフィール

山崎 希（やまざき のぞみ）： GPSP インドネシア担当部長／看護師／岡山市在住

大政 朋子（おおまさ ともこ）： GPSP クアラルンプール事務局長／調整員／クアラルンプール在住

（GPSP： Global Partnership for Sustainable Peace [世界平和パートナーシップ]の略称）

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の必切を本日から1ヵ月後の2015年4月18日といたします。宜しくお願いいたします。

RNN 定例会議(1998/7/24開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ① RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク（INNED、姉妹校等）が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「大洋州サイクロン」とご明記下さい。

以上

RNN 郵便振替口座

加入者名： RNN

口座番号： 01310-9-63933